

雅楽のコスモロジー

—日本宗敎式楽の精神史

おの しんりゆう

小野真龍(天王寺舞楽協会常任理事)著

▼46判・並製カバー! 256頁

本体二、二〇〇〇円十税

2019年10月刊行



一四〇〇年にわたり、神仏のせめぎあいの中で、王権を支える宗敎式楽として続いてきた、世界に類をみない芸能である日本の雅楽。
その精神史を追うことで、日本固有の宗敎コスモロジーを探索する希有な書。

【目次】

序 雅楽のコスモロジー

- 一、「雅楽」と祭政
- 二、日本人の宗敎的心性の根底——アニミズム
- 三、仏敎の導入と外来音楽——聖徳太子が結びつけた仏敎と「伎楽」
- 四、東大寺大仏開眼供養会の意義——聖徳太子の仏敎音楽理念の実現
- 五、雅楽のコスモロジーの端緒としての八幡神
- 六、日本の雅楽の形成
- 七、浄土思想と雅楽
- 八、往生伝と往生講式——音楽成仏思想
- 九、内侍所御神楽儀——神道的エートスの核
- 十、楽所と楽家の成立と盛衰——近代までの雅楽伝承者
- 十一、神仏習合と雅楽の風景——中世・近世の雅楽のコスモロジー
- 十二、神仏分離と国家神道——「近代」雅楽への変異

◆著者略歴

一九六五年、小野妹子の八男多嘉麿が開基であり、雅楽会の事務所が置かれる大阪木津の願泉寺に生まれる。幼少より四天王寺「聖霊会の舞楽」の童舞の舞人を務め、天王寺楽人の道へ。京都大学文学研究科博士課程(宗敎学)を修了。宗敎哲学の研究で京都大学博士(文学)となり、二〇〇八年より二〇一六年まで相愛大学人文学部特任准教授を務める。
現在は、浄土真宗本願寺派願泉寺住職、天王寺舞楽協会常任理事、天王寺楽所雅亮会副理事長(二〇一九年十二月より)。京都大学大学院や龍谷大学大学院で、雅楽の背景をなす日本思想や、仏敎音楽論、宗敎儀礼論を講じている。
主な著書・論文『ハイデッガー研究』(京都大学学術出版社)、『西谷啓治とアリストテレス』、『浄土真宗の儀礼観と音楽』、『仏敎儀礼論の端緒—E・カッシーラー、T・アサドを手掛かりに—』、『天王寺舞楽—浪速に残る最古の古典芸能—』など多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
小野真龍著	法藏館
雅楽のコスモロジー	本体二、二〇〇〇円十税
—日本宗敎式楽の精神史	
ISBN: 978-4-8318-6256-3 C1015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

芸能・思想史